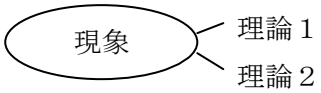
理論の共約不可能性

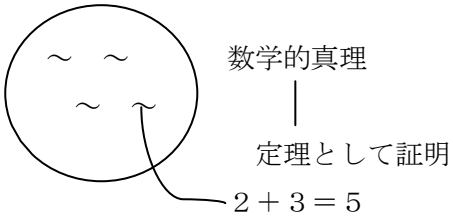
問：理論を比較し、その優劣を決定できると
　　思われているが、本当にそうか？



１、固有名の意味

問題：固有名はいかにして対象を指示するか

「太郎」→



① 記述説

提唱者：フレーゲ

「ゲーテル」――「不完全定理の証明者」

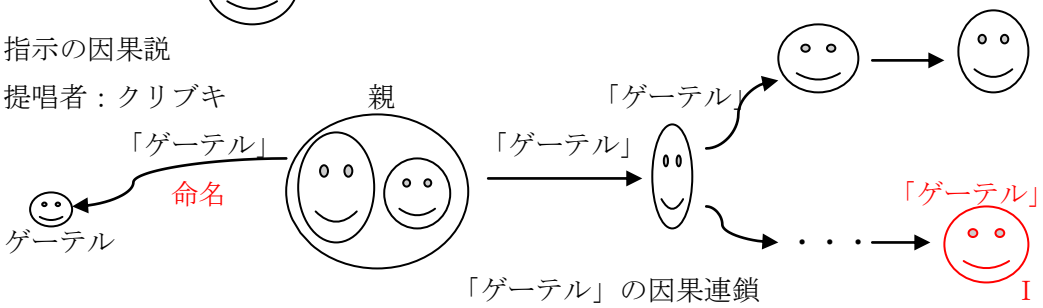
確定記述

指示する

当てはまる

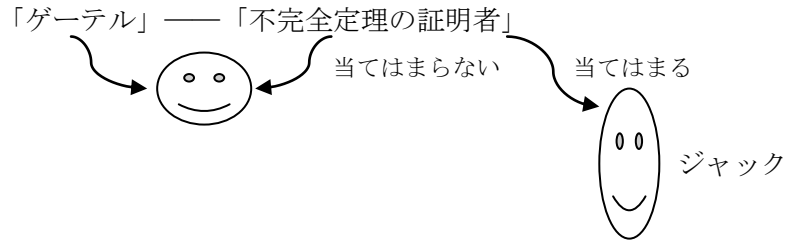
② 指示の因果説

提唱者：クリブキ



因果説の利点

不正確記述の問題



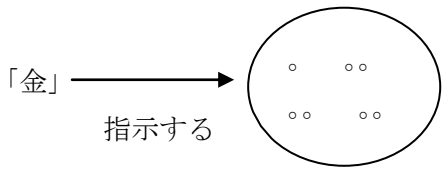
２、自然種語の意味

自然種：自然の側でひとつのまとまりをなしている種

物質種：金、銀、・・・

生物種：イヌ、ネコ、トラ、・・・

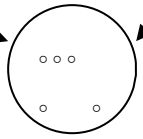
問：自然種語はいかにして自然種を指示するか



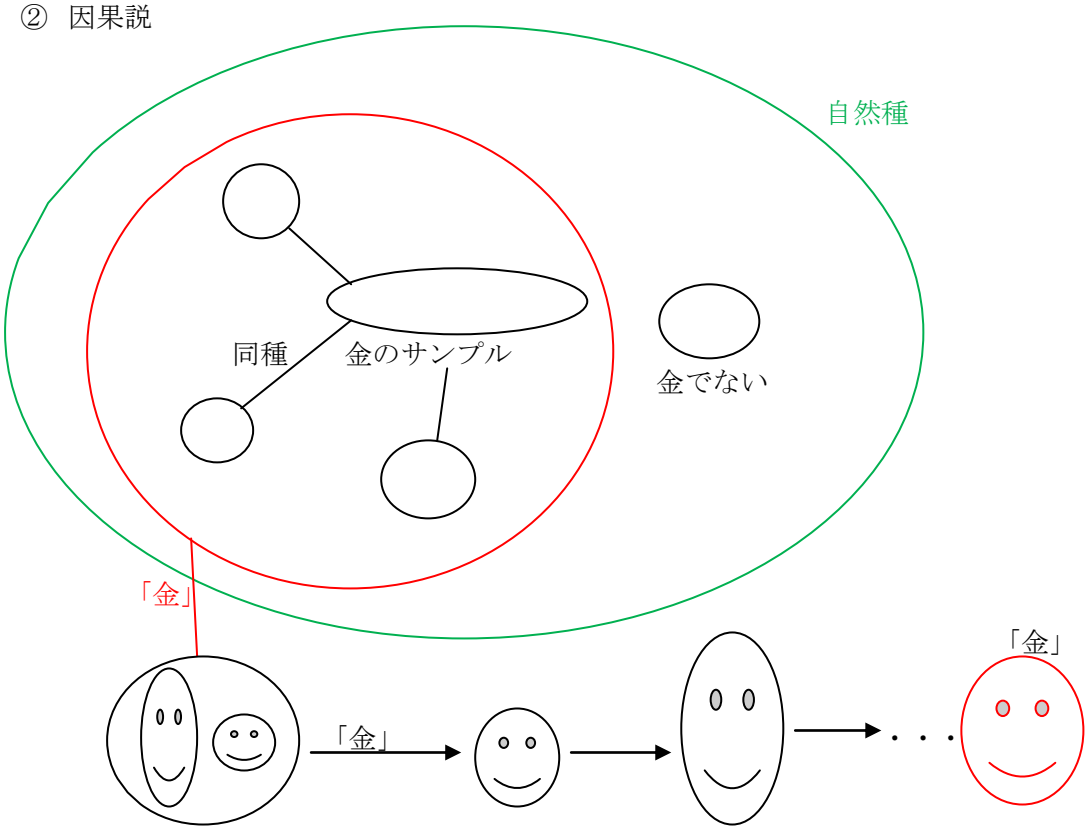
① 記述説

「金」――「黄色く、希少で、高価な金属」

指示する



② 因果説



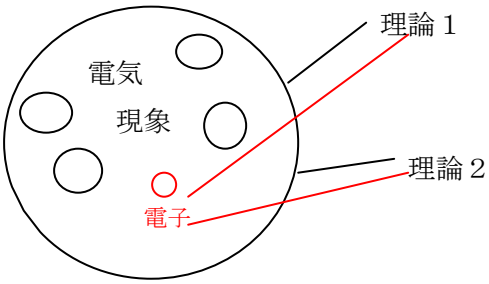
3、理論の共約不可能性

トーマス・クーン

異なる理論は共約不可能である

共通の尺度がなく、

比較不可能



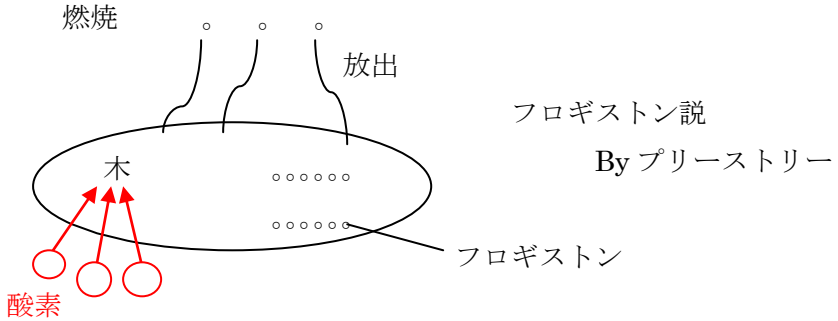
論拠

① 観察の理論負荷性

異なる理論のもとでは、観察も異なる

日の出：天動説のもとでは、太陽の公転

地動説のもとでは、地球の自転



フロギストン説

By プリーストリー

酸素説

By ラボアジェ

② 理論語の意味は、理論内で与えられる記述によって決まる（記述説）

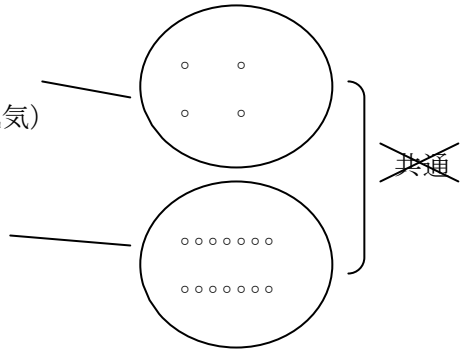
理論が変われば、理論語の指示対象も変わる

古代元素論（アリストテレス）

元素：物質の基本構成要素である

４種類ある（土、火、水、風気）

現代元素論

元素：原子のタイプで種別化される

１００種以上ある